

現場で役立つ刑事訴訟法の基礎知識を伝授!

目次

I 刑事訴訟法とは何か

- I-1 手続の流れを理解しよう
- I-2 憲法と刑事訴訟法
- I-3 刑法と刑事訴訟法
- I-4 適正手続の保障とは何か
- I-5 刑事裁判に関わる機関とその役割

II 捜査とは何か

- II-1 捜査事例
- II-2 任意捜査の原則と強制処分法定主義
- II-3 逮捕
- II-4 勾留
- II-5 取調べと接見
- II-6 録音・録画制度

III 公訴とは何か

- III-1 起訴に関連する制度について
- III-2 起訴・不起訴
- III-3 保釈

IV 公訴から第1回公判期日まで

- IV-1 事前準備
- IV-2 公判前整理手続
- IV-3 争点整理
- IV-4 裁判員裁判と公判前整理手続

V 公判とは何か

- V-1 公判手続
- V-2 冒頭手続
- V-3 証拠調べの流れ
- V-4 証拠
- V-5 証拠調べ
- V-6 公判における心証形成に向けたポイント

VI 上訴、再審とは何か

- VI-1 控訴審
- VI-2 上告審

実務家に 必要な 刑事訴訟法

入門編

中央大学名誉教授・弁護士

椎橋 隆幸 監修

弁護士

裁判官

検察官

寺本 吉男・大野 勝則・山上 秀明 編著

実務の現場で、司法試験の勉強で、どうしても知っておいて欲しいことだけを、第一線で活躍する法曹三者と学者が、若手実務家へ向け、わかりやすく解説した使える刑事訴訟法の入門書。

裁判官・検察官・弁護士の心得、取調べの極意、告訴状の書き方、証人尋問の失敗談、検察官・弁護士へ裁判官から一言など多数のワンポイントアドバイスやチャート・図表も有益。

実務の現状と実務家の対応の仕方が、手続の流れに沿ってよくわかる注目の一冊。

定価 1,944円(税込)

A5判 並製 224頁
ISBN 978-4-335-35759-6 C1032
7月25日発売

【本書の特色】

- 手続の流れに沿った構成
- 重要論点1つにつき、解説1頁の読み切り型
- 法曹三者(裁判官・検察官・弁護士)と学者がコラボ
- 痒いところに手が届く29のワンポイントアドバイス
- チャート・図表によるビジュアル化
- 若手実務家、司法修習生、司法試験受験生に最適

